

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	下関市立大学
設置者名	公立大学法人下関市立大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
経済学部	経済学科	夜・通信	20	38		58	13	
	国際商学科	夜・通信				58	13	
	公共マネジメント学科	夜・通信				58	13	
データサイエンス学部	データサイエンス学科	夜・通信	16		14	30	13	
看護学部	看護学科	夜・通信	18		55	73	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>大学ホームページにて公表している。                  ※シラバス検索ページ (<a href="https://syllabus.shimonoseki-cu.ac.jp/syllabus/top.do">https://syllabus.shimonoseki-cu.ac.jp/syllabus/top.do</a>)                  より、キーワードに「実務経験」「実務家教員」と入力して検索可能。</p>
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	下関市立大学
設置者名	公立大学法人下関市立大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

大学ホームページ 【理事の分掌】 <a href="https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/wp-content/uploads/2025/04/2025_rijibunyou.pdf">https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/wp-content/uploads/2025/04/2025_rijibunyou.pdf</a>
---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
常勤	元下関市副市長	2025.4.1～ 2027.3.31	法人業務の総理
常勤	元下関市総務部長	2025.4.1～ 2027.3.31	総務、財務、人事、 労務、安全衛生、危機管理に関する業務
非常勤	元公立大学法人下関市立大学理事長	2025.4.1～ 2027.3.31	法人業務全般に関すること
非常勤	株式会社山口フィナンシャルグループ 執行役員	2025.4.1～ 2027.3.31	法人業務のうち主に経営に関すること
非常勤	元公立高等学校校長	2025.4.1～ 2027.3.31	法人業務のうち主に教育・研究に関すること
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	下関市立大学
設置者名	公立大学法人下関市立大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。				
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業計画書(シラバス)には、授業概要、到達目標、評価の方法と基準、事前・事後学習、事前受講を推奨する科目、教科書、参考書、備考、各回の授業の計画、参考URLの項目を設けている。詳細は、「シラバス記載要項」(別添)によりガイドラインを定め、前年度12月頃からシラバス作成を依頼し、学内確認後、3月中旬頃に大学ホームページにて公表している。				
授業計画書の公表方法	<a href="https://syllabus.shimonoseki-cu.ac.jp/syllabus/top.do">https://syllabus.shimonoseki-cu.ac.jp/syllabus/top.do</a>			
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。				
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) シラバスに記載した「評価の方法・基準」に基づき、平常点(授業中の発表、報告への取り組み姿勢など)、小テスト(単元又は中間時点での理解度確認)、定期試験又はレポート(成果物)その他の方法により、授業ごとに設定した到達目標に即して学修成果を評価し、単位認定を行っている。 下関市立大学学則及び下関市立大学試験及び成績の評価に関する規程に評価の基準を定めるほか、下関市立大学におけるアセスメントポリシーにおいて、以下のとおり、評定・点数・評価基準の対応関係を定めている。 これらは大学ホームページでの公表をはじめ、履修ガイドへの掲載等を通して学生に周知している。				
評定	点数 (100点満点)	評価基準		
		到達目標	成績	判定
秀	90点から100点まで	ほぼ完全に達成	極めて優秀	合格
優	80点から89点まで	十分に達成	優秀	
良	70点から79点まで	概ね達成	良好	
可	60点から69点まで	最低限達成	最低限合格可	
不可	59点以下	達成していない	合格不可	不合格

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)  客観的な指標としてG P A制度を導入しており、詳細は「下関市立大学におけるG P A制度の取扱いに関する要綱」に定め、大学ホームページでの公表をはじめ、履修ガイドへの掲載等を通して学生に周知している。</p> <p>(1) 学期G P Aの計算式  当該学期の(4×「秀」の単位数+3×「優」の単位数+2×「良」の単位数+1×「可」の単位数)÷当該学期の総履修登録単位数</p> <p>(2) 通算G P Aの計算式  全期間の(4×「秀」の単位数+3×「優」の単位数+2×「良」の単位数+1×「可」の単位数)÷全期間の総履修登録単位数</p> <p>成績分布状況については、各学期末に全教員宛てに報告し、科目ごとの点検・評価を実施している。当該結果は、各部長及び大学全体で確認し、それぞれ点検・評価を行っている。</p> <p>学生に対しては、教務システムポータルサイトに公表して周知している。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>【下関市立大学におけるG P A制度の取扱いに関する要綱】  <a href="https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/wp-content/themes/shimonoseki-ac/pdf/scu_61230.pdf">https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/wp-content/themes/shimonoseki-ac/pdf/scu_61230.pdf</a></p> <p>【G P A (Grade Point Average)】  <a href="https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/about/publication/172-2/172-2_7#3">https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/about/publication/172-2/172-2_7#3</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)  卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)を定め、大学ホームページでの公表をはじめ、履修ガイドへの掲載等を通して学生に周知している。  卒業要件を満たした学生については、教授会の意見を聴いて学長が卒業を認定している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>【ディプロマ・ポリシー】  <a href="https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/about/gaiyou/outline_3policy">https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/about/gaiyou/outline_3policy</a></p> <p>【卒業に必要な単位の内訳】  <a href="https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/about/publication/172-2/172-2_7#1">https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/about/publication/172-2/172-2_7#1</a></p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	下関市立大学
設置者名	公立大学法人下関市立大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/wp-content/uploads/2025/09/zaimushohyo2024.pdf">https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/wp-content/uploads/2025/09/zaimushohyo2024.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/wp-content/uploads/2025/09/zaimushohyo2024.pdf">https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/wp-content/uploads/2025/09/zaimushohyo2024.pdf</a>
財産目録	—
事業報告書	<a href="https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/wp-content/uploads/2025/09/jigyohokokusho2024.pdf">https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/wp-content/uploads/2025/09/jigyohokokusho2024.pdf</a>
監事による監査報告(書)	<a href="https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/wp-content/uploads/2025/09/kansahokokusho2024.pdf">https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/wp-content/uploads/2025/09/kansahokokusho2024.pdf</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	
中長期計画(名称: 公立大学法人下関市立大学中期計画(第4期) 対象年度: 2025年度~2030年度)	
公表方法: <a href="https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/wp-content/uploads/2025/02/scu_chukikeikaku-4.pdf">https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/wp-content/uploads/2025/02/scu_chukikeikaku-4.pdf</a>	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: <a href="https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/wp-content/uploads/2025/11/tenkenhyoka_hokokusho_2024.pdf">https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/wp-content/uploads/2025/11/tenkenhyoka_hokokusho_2024.pdf</a>
---

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

2022年度受審 大学機関別認証評価
公表方法:
【認定証】 <a href="https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/wp-content/themes/shimonoseki-ac/pdf/2022Certificate.pdf">https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/wp-content/themes/shimonoseki-ac/pdf/2022Certificate.pdf</a>
【評価報告書】 <a href="https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/wp-content/themes/shimonoseki-ac/pdf/2023EvaluationReport.pdf">https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/wp-content/themes/shimonoseki-ac/pdf/2023EvaluationReport.pdf</a>
【点検評価ポートフォリオ】 <a href="https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/wp-content/themes/shimonoseki-ac/pdf/tenkenhyoka_portfolio_2022.pdf">https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/wp-content/themes/shimonoseki-ac/pdf/tenkenhyoka_portfolio_2022.pdf</a>

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 経済学部、データサイエンス学部、看護学部
教育研究上の目的（公表方法： 大学ホームページ <a href="https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/about/publication/172-2/172-2_1">https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/about/publication/172-2/172-2_1</a> ）
<p>(概要)</p> <p><b>【全体】</b></p> <p>下関市立大学は、総合的な知識と専門的な学術を教授研究するとともに、地域に根ざし、世界を目指す教育と研究を通じ有為な人材を育成することにより、地域社会及び国際社会の発展に寄与することを目的としています。</p> <p><b>【経済学部】</b></p> <p>現代の経済・組織・社会の仕組みを理解し、それを自らの業務や立場と関連付けながら考察することで、様々な経済的諸問題についての的確な判断ができる高度職業人を育成することを目的とする。</p> <p>(経済学科)</p> <p>経済学の代表的なアプローチを理解し、グローバルから地域社会まで幅広い視野から考察できる能力を身につけることで、様々な経済的諸問題について論理的に考察できる高度職業人を育成する。</p> <p>(国際商学科)</p> <p>組織運営や商取引に関する専門的な知識や技能を理解し、グローバルな視野を含め組織の活動を考察することができ、組織や社会の中でそれらの力を実践することができる高度職業人を育成する。</p> <p>(公共マネジメント学科)</p> <p>経済学の代表的なアプローチ、組織運営や商取引に関する知識や技能を身につけており、自らの置かれた立場の下で、公共的価値の担い手として社会に貢献できる高度職業人を育成する。</p> <p><b>【データサイエンス学部】</b></p> <p>(データサイエンス学科)</p> <p>多様なデータを設計・分析・活用するために必要な数理統計・情報学・社会科学に関する理論と実務に習熟することにより、社会や組織が抱える課題の解決や新たな価値の創造に貢献しうる高度職業人を育成することを目的とする。</p> <p><b>【看護学部】</b></p> <p>(看護学科)</p> <p>人々の生命・尊厳・権利を尊重し、多様な価値観を豊かな人間性と柔軟な心で捉え、科学的思考に基づく洞察力と創造力をもって看護を主体的に実践し、地域住民の健康に寄与できる看護専門職者を育成することを目的とする。</p>

卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：[https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/about/gaiyou/outline\\_3policy](https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/about/gaiyou/outline_3policy)）

（概要）

### **2026年度の入学者**

※2025年度以前の入学者に係る卒業認定・学位授与の方針は、本学ホームページを参照のこと。

#### **【経済学部】**

（経済学科）

- A. 経済学の代表的なアプローチを理解し、幅広い視野から経済・社会について考察できる能力を身につけている。
- B. 数量的・統計的データやモデルも活用しながら、様々な経済現象について論理的な考察ができる能力を身につけている。
- C. 国境を超える企業や金融などの経済主体の行動や関係について、日本経済との関係も意識しながら考察できる能力を身につけている。
- D. 経済・社会・地域に関連する様々な政策や制度の意図について、それらの歴史的背景とあわせて理解するとともに、長所や短所を考察できる能力を身につけている。

（国際商学科）

- A. 組織運営や商取引に関する専門的な知識や技能を理解し、様々な職能分野と協力しながら、組織の中で活躍することができる能力を身につけている。
- B. 東アジアをはじめとする他国の経済・文化に対する理解を有し、グローバルな視点から事業や企業の活動を考えることができる能力を身につけている。
- C. 競争関係や顧客のニーズ、社会正義などの外部環境と組織の相互関係の重要性を理解しており、社会の発展と関連付けながら組織の活動を俯瞰できる能力を身につけている。
- D. 組織に関わる資金の流れや経営活動の結果を数値・データ化して分析するとともに、その結果を利害関係者に適切に示すことで、組織運営の改善に貢献できる能力を身につけている。

（公共マネジメント学科）

- A. 多様な人・組織が公共的価値を含む領域に関わることの意義を理解し、自らが置かれた立場のもとで、社会の担い手の一員として活躍することのできる能力を身につけている。
- B. 経済学の代表的なアプローチを理解し、幅広い視野から経済・社会について考察できる能力を身につけている。
- C. 組織運営や商取引に関する専門的な知識や技能を理解し、様々な職能分野と協力しながら、組織の中で活躍することができる能力を身につけている。
- D. 地域・社会に関する制度・政策・諸問題に関する知識を有し、地域・社会の様々な問題を発見し、現実的な解決策を考察することのできる能力を身につけている。

#### **【データサイエンス学部】**

（データサイエンス学科）

- A. 統計や関連する数理科学に関する知識と、それらを活用した分析の経験を通じて、データを収集・整理・分析し、そこから得られる知見を論理的に考察できる能力を身につけている。
- B. 情報の管理や分析、人工知能などのアルゴリズムに関する知識を有し、かつそれらをコンピュータ上で表現する経験を通じて、様々な形式のデータを分析・活用し、適切に扱うことのできる能力を身につけている。
- C. ビジネス又はヘルスケアの分野でデータ分析がどのように行われているかを、各分野固有の知識とあわせて学ぶことで、データが社会に果たしうる役割を理解するとともに、データを扱ううえで必要な倫理観や責任感（モラル）を身につけて

いる。

- D. 様々な人々と協力し適切なコミュニケーションをとることができ、用いた分析手法や結果の統計的解釈をわかりやすく伝達することができる。

### 【看護学部】

(看護学科)

#### A. 知識・理解

1. 多様な人々とその生活や社会・文化を理解するための幅広い教養を身につけている。
2. 看護の対象（個人・家族・集団・地域社会）を多角的な視点から理解し、適切な看護を実践するための基礎的知識を修得している。

#### B. 汎用性技能

3. 看護の対象（個人・家族・集団・地域社会）に対して科学的根拠に基づき良質な看護が実践できる。
4. 保健医療福祉の場における看護専門職の役割を理解し、多職種と連携・協働できる。

#### C. 態度・志向性

5. 人々の生命・尊厳・権利を尊重し、看護専門職者としての倫理観・使命感に基づき行動できる。
6. 自らの看護実践力を高めていく自己研鑽力を有している。

#### D. 統合的学習経験と創造的思考

7. 情報通信技術を正しく活用し、看護を探究できる。
8. 地域の視点とグローバルな視点から看護を創造的に思考できる。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：[https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/about/gaiyou/outline\\_3policy](https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/about/gaiyou/outline_3policy)）

(概要)

### 2026年度の入学者

※2025年度以前の入学者に係る教育課程編成・実施の方針は、本学ホームページを参照のこと。

卒業認定・学位授与の方針で示した目標を学生が達成できるよう、各学部学科では以下の方針に基づき教育課程を体系的に編成・実施する。

### 【経済学部】

(経済学科)

- A. 専攻基礎を通じて、経済学の主要なアプローチを理解する。
- B. 専攻応用「理論・分析手法」を通じて、経済現象について論理的な考察ができる能力を深める。
- C. 専攻応用「国際・東アジア」を通じて、国境を超える経済主体の行動・関係を考察できる能力を深める。
- D. 専攻応用「制度・政策」「地域」を通じて、経済・社会・地域に関する政策や制度を考察できる能力を深める

(国際商学科)

- A. 専攻基礎・専攻応用全体を通じて、組織運営や商取引に関する様々な専門的な知識や技能を理解する。
- B. 専攻応用「国際・東アジア」を通じて、東アジアをはじめとする他国の経済・文化への理解を深める。
- C. 専攻応用「流通・マーケティング」を通じて、組織と外部環境の総合関係を考察できる能力を深める。
- D. 専攻応用「経営・会計」を通じて、経営活動を数値・データ化して分析する能力

を深める。

(公共マネジメント学科)

- A. 専攻基礎・専攻応用全体を通じて、多様な主体が公共的な価値を含む領域に関わることの意義を理解する。
- B. 専攻基礎・専攻応用「経済・財政」を通じて、経済学の主要なアプローチを理解する。
- C. 専攻基礎・専攻応用「経営・会計」を通じて、組織運営や商取引に関する様々な専門的な知識や技能を理解する。
- D. 専攻応用「法・政治・行政」「地域・社会」を通じて、地域・社会に関する制度・政策・諸問題に関する知識を深める。

(経済学部：学修成果の評価の方針)

学修成果は授業計画(シラバス)に沿って評価する。2年次終了の段階で、学修到達度を評価したうえで、専門演習Ⅰの履修の可否を判断する。4年次終了時に、学修到達度を通じて、ディプロマ・ポリシー全体の到達度を総合的に評価する。

**【データサイエンス学部】**

(データサイエンス学科)

- A. 1～2年次にかけてデータサイエンスに関する数学の基礎知識を修得したうえで、2～3年次に統計的分析手法に関する幅広い知識と技能を身につけるための講義科目・演習科目を修得する。
- B. 1～2年次に情報やプログラミングに関する基礎知識を修得したうえで、2～3年次に人工知能を含むアルゴリズムに関する幅広い知識とデータ分析・活用の技能を身につけるための講義科目・演習科目を修得する。
- C. 2～3年次に、ビジネス又はヘルスケアの分野におけるデータの分析を学ぶ科目を修得する。あわせて、講義やアクティブ・ラーニング型科目を通じて、データを扱う技術者としての倫理観と責任感を身につける。
- D. 1～4年次を通して、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力、創造的な思考力を身につけるため、演習科目やプロジェクト型学習科目、卒業研究を修得する。
- E. 学修成果の評価については、客観性及び厳格性を確保するために、シラバスに記載した各授業科目の到達目標の達成度について、成績評価の方法と基準(定期試験、レポート等)を用いて多面的・総合的に評価する。

**【看護学部】**

(看護学科)

1. 幅広い教養を身につけ、多様な人々とその生活や社会・文化を理解できる基盤を培うために、基盤教育科目と教養教育科目を配置します。基盤教育科目は『外国語』、教養教育科目は『リベラルアーツ』(人文科学/社会科学/自然科学/生命・健康科学/人権・共生)、『下関学』の科目群を配置し、全分野から幅広く履修することで看護の対象者の多様な価値観を豊かな心と柔軟な心で捉え、多様性を受け入れることができる人間力を培います。
2. 看護の対象(個人・家族・集団・地域社会)を多角的な視点から理解し、科学的根拠に基づいた良質な看護を実践する基盤を培うために、専門基礎教育科目は「人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ」「臨床病態学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」「薬理学」「栄養と代謝」や社会保障制度に関連した科目などを系統的に配置します。
3. 専門的知識と科学的思考に基づき看護を主体的に実践するために専門教育科目の講義・演習・実習科目を系統的に配置します。専門教育科目は『基盤看護』『臨床看護』『子どもと家族の看護』『地域看護』『看護の統合』の5つの科目群で編成します。健康、不健康を問わずその人らしい健康な生活を支える看護として

ヘルスケアを学ぶ科目「ライフステージとヘルスケア概論Ⅰ・Ⅱ」「小児ヘルスケア方法論Ⅰ・Ⅱ」「成人ヘルスケア方法論Ⅰ・Ⅱ」などを配置します。地域の視点とグローバルな視点から健康課題を考えられるように「国際保健看護学」を配置します。

4. 臨地実習では、地域に密着した公立大学の特性を活かし、「暮らしと地域を知る実習」をはじめ、下関及び周辺地域で臨地実習を行うことにより、地域住民の健康を考える力の基盤を培います。また、多様な保健医療福祉の場において、看護の専門性を理解し、多職種と連携・協働する力を身につけるために、3年次の臨地実習の最後に「多職種連携実習」を配置します。さらに、4年次の「看護の統合実習」では、自ら実習課題を設定し、実践することで看護専門職者としての倫理観・使命感、看護実践力を高めていく自己研鑽力を養います。
5. 保健医療福祉分野における情報通信技術（ICT）を正しく活用できる基礎的な知識・技術を身につけるために、基盤教育科目『情報・数理』の科目群に「コンピュータ科学」「コンピュータ活用Ⅰ・Ⅱ」「情報リテラシー」「プログラミング」を選択必修科目として配置し、専門基礎教育科目に「看護情報学」を配置します。これらの知識・技術を活用し、「看護研究入門」「看護研究演習」「看護の統合実習」で、看護を探究し創造的に思考する力を養います。さらに、ICT活用の拡大に伴い重要となる看護を探究するために、専門教育科目に「情報通信技術と看護」を配置します。
6. 講義・演習では、授業形態に応じてICTの活用、アクティブラーニングをはじめとした多様な学習方法を取り入れます。学修成果の評価は、ディプロマ・ポリシーに基づき、科目ごとに定めた成績評価基準により厳格に評価を行います。ポートフォリオの導入により学修を可視化し、学生が自己評価できるようにします。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：[https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/about/gaiyou/outline\\_3policy](https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/about/gaiyou/outline_3policy)）

（概要）

### **2026年度の新入生**

※2025年度以前の入学者に係る入学受け入れ方針は、本学ホームページを参照のこと。

### **【経済学部】**

下関市立大学経済学部では、次のような学生を求めています。

1. 経済・経営に関する知識をもとに企業での活躍を目指す学生
2. 行財政に関する知識をもとに行政やNPOなど公共の場での活躍を目指す学生
3. 高度な外国語能力をもとに国際社会での活躍を目指す学生
4. 情報・数理分野の知識をもとにICT産業やデータ分析分野での活躍を目指す学生
5. 社会や人間に対する深い知識をもとに教育者や研究者として活躍を目指す学生

なお、入学前に習得していることが期待される内容は、以下のとおりです。

1. 経済学を学ぶために必要となる基礎的な知識・技能として、高等学校等で学ぶ国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語の知識
2. 思考力・判断力・表現力等の能力として、日々の社会・経済問題に関心を持ち自ら解決策を考える問題発見・解決能力及び高等学校等のグループ学習・課外活動等で培われるコミュニケーション能力
3. 主体性・多様性・協働性として、目的意識を持って自ら学ぼうとする姿勢、異なる文化や価値観を理解する能力、地域社会での活動を通じて得られる公共の

## 精神

経済学部各学科では、次のような学生を求めています。

(経済学科)

経済学科では、地域社会及び国際社会の多様な問題に関心を持ち、経済的・社会的諸問題に関わる理論・歴史・政策の基盤となる知識・技能や、論理的な読解力・思考力、数量的な分析力を備えた学生を求めています。

(国際商学科)

国際商学科では、現代におけるグローバル・ビジネスと企業経営に興味があり、国際交流に積極的に挑戦しようとする意欲を持ち、基礎的な語学能力や情報処理能力などを備えた学生を求めています。

(公共マネジメント学科)

公共マネジメント学科では、地域社会で積極的に活動する意欲を持ち、地域・社会が抱えている様々な公共的課題に関心があり、それらを学問的に学ぶための論理的思考力を備えた学生を求めています。

## 入学者選抜の基本方針

下関市立大学経済学部では、本学の教育理念・目標に沿った学生を選抜するため、一般選抜に加えて、学校推薦型選抜、特別選抜（社会人、帰国生徒）、外国人留学生選抜、第3年次編入学試験を実施しています。経済学部の入学試験では、大学入学共通テスト、個別学力検査、調査書、面接などを組み合わせて、志願者の能力や資質を総合的に評価します。それぞれの選抜区分において重視する学力の3要素は以下の通りです（◎：特に重視する、○：重視する）。

選抜区分	選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協調性
学校推薦型選抜 (全国・地域B)	小論文	○	◎	
	出願書類			○
学校推薦型選抜 (地域A)	小論文	○	◎	
	面接		○	◎
	出願書類			○
一般選抜（前期）	共通テスト	◎		
	小論文	○	◎	
一般選抜（中期）	共通テスト	◎		
	英語	◎	○	
特別選抜 (社会人・帰国生徒)	小論文	○	◎	
	面接		○	◎
	出願書類			○
外国人留学生	日本留学試験	◎	○	
	出願書類			○
第3年次編入学	小論文	○	◎	
	面接		○	◎
	出願書類			○

## 【データサイエンス学部】

(データサイエンス学科)

下関市立大学データサイエンス学部データサイエンス学科では、次のような能力・資質をもった学生を求めています。

(A) データサイエンスを学ぶために必要となる基礎的な知識・技能として、高等学校等で学ぶ数学及び外国語の知識

(B) 思考力・判断力・表現力等の能力として、日々の社会問題に関心を持ち、データを用いた解決策を考える課題発見・解決能力及び演習授業等を通じてチー

ムでよりよい提案を考えられるコミュニケーション能力  
 (C)主体性・多様性・協働性として、自ら目的意識を持って学ぼうとする姿勢、異なる文化や価値観を理解する能力、地域社会での活動を通じて得られる公共の精神

**各入学者選抜方針とアドミッション・ポリシーの関係は以下のとおり**

種別		試験の内容	AP(A)	AP(B)	AP(C)
学校推薦型選抜	全国推薦	書類審査	○		○
		小論文試験	○	◎	
	地域推薦	書類審査	○		○
		小論文試験	○	◎	
一般選抜	大学入学 共通テスト	大学入学 共通テスト	◎	○	
		個別学力検査 (小論文)	○	◎	
		書類審査			○
	公立大学 中期日程	大学入学 共通テスト	◎	○	
		個別学力検査 (数学)	◎	○	
		書類審査			○

◎特に重視する要素／○重視する要素

**【看護学部】**

(看護学科)

下関市立大学看護学部看護学科では、次のような学生を求めています。

1. 看護学を学ぶために必要な基礎学力を有し、学習習慣が身についている人  
看護学を学ぶ前提として、高等学校までに学習する教科・科目に関する基礎的な知識が必要です。特に文章や資料等を的確に理解するための「国語」や「英語」、科学的思考の基本となる「理科」「数学」、人の暮らしを理解するための「社会」等の知識が不可欠です。また日々の学習が習慣化している人を求めます。
2. 人の話を聴き、論理的に考え表現できる人  
看護職は保健医療福祉分野の様々な人たちとの協働が不可欠です。人の意見を的確に理解し、物事を筋道立てて考え説明できる人を求めます。
3. 人や社会に関心をもち、良好な人間関係を築くことができる人  
看護を実践するには良好な人間関係を築くコミュニケーション能力が求められます。人や社会に関心をもち、家族や友人をはじめとする周囲の人と積極的にコミュニケーションがとれる人を求めます。
4. 看護職を志し、協調性をもって意欲的に学ぶことができる人  
看護職を目指す意志があり、他者と協力・協調しながら自己を高める努力ができる人を求めます。
5. 下関および周辺地域の保健医療福祉に貢献したいという思いがある人  
下関および周辺地域で暮らす人々に関心をもち、地域の保健医療福祉に貢献したいという思いのある人を歓迎します。

**各入学者選抜方法とアドミッション・ポリシーの関係は以下のとおり**

種別		試験内容	AP1	AP2	AP3	AP4	AP5
学校推薦型選抜	全国推薦	書類審査	調査書	○		○	
			志願理由		○		○
		小論文審査	○	◎			
		面接		○	○	○	○

	地域推薦	書類審査	調査書	○		○		
			志願理由		○		○	○
		小論文調査		○	◎			
		面接			○	○	○	◎
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト		◎				
		小論文審査		○	◎			
		書類審査	調査書	○		○		
			面接		○	○	○	○
	公立大学 中期日程	大学入学共通テスト		◎				
		書類審査	調査書	○		○		
面接				○	○	○	○	
特別選抜	社会人	書類審査	履歴書	○				
			調査書	○		○		
			志願理由		○		○	○
		小論文審査		○	◎			
	面接			○	○	○	○	
	帰国生徒	書類審査	履歴書	○				
			調査書	○		○		
			志願理由		○		○	○
小論文審査		○	◎					
面接			○	○	○	○		

◎特に重視する要素／○重視する要素

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：[https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/about/publication/172-2/172-2\\_2](https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/about/publication/172-2/172-2_2)

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	4人	—					4人
経済学部	—	19人	13人	2人	1人	0人	35人
データサイエンス学部	—	8人	5人	4人	0人	0人	17人
看護学部	—	9人	5人	10人	14人	2人	40人
教養教職機構	—	6人	8人	1人	2人	0人	17人
経済学研究科	—	1人	2人	0人	0人	0人	3人
その他	—	4人	1人	1人	2人	1人	9人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		64人					64人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： <a href="https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/about/publication/172-2/172-2_3">https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/about/publication/172-2/172-2_3</a>					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
教員の教育研究活動について改善と充実を恒常的に図るため、授業アンケートやFD研修などを実施している。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
経済学部	370人	391人	105.7%	1600人	1779人	111.2%	20人	17人
データサイエ ンス学部	80人	88人	110.0%	240人	252人	105.0%	0人	0人
看護学部	80人	81人	101.3%	160人	163人	101.9%	0人	0人
合計	530人	560人	105.7%	2000人	2194人	109.7%	20人	17人
(備考) 入学者及び在学生は、2026年5月1日学生数による。								

b. 卒業生数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
経済学部	456人 (100%)	2人 (0.4%)	429人 (94.1%)	25人 (5.5%)
合計	456人 (100%)	2人 (0.4%)	429人 (94.1%)	25人 (5.5%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 福岡教育大学大学院、青山学院大学大学院、下関市役所、(株)山口フィナンシャルグループ、ダイワボウ情				

報システム(株)、(株)一条工務店、(株)中国銀行、(株)西日本シティ銀行、日本年金機構、ニプロ(株)、西日本旅客鉄道(株)、東テク(株)、国家公務員一般職・各県庁・各市役所など

(備考) 2025年9月卒業者15名含む。

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
経済学部	479人 (100%)	404人 (84.3%)	53人 (11.1%)	22人 (4.6%)	0人 (%)
合計	479人 (100%)	404人 (84.3%)	53人 (11.1%)	22人 (4.6%)	0人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要) [様式第2号の3より再掲] 授業計画書(シラバス)には、授業概要、到達目標、評価の方法と基準、事前・事後学習、事前受講を推奨する科目、教科書、参考書、備考、各回の授業の計画、参考URLの項目を設けている。詳細は、「シラバス記載要項」(別添)によりガイドラインを定め、前年度12月頃からシラバス作成を依頼し、学内確認後、3月中旬頃に大学ホームページにて公表している。</p>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要) [様式第2号の3より再掲] シラバスに記載した「評価の方法・基準」に基づき、平常点(授業中の発表、報告への取り組み姿勢など)、小テスト(単元又は中間時点での理解度確認)、定期試験又はレポート(成果物)その他の方法により、授業ごとに設定した到達目標に即して学修成果を評価し、単位認定を行っている。 下関市立大学学則及び下関市立大学試験及び成績の評価に関する規程に評価の基準を定めるほか、下関市立大学におけるアセスメントポリシーにおいて、以下のとおり、評定・点数・評価基準の対応関係を定めている。 これらは大学ホームページでの公表をはじめ、履修ガイドへの掲載等を通して学生に周知している。</p>
--

評定	点数 (100点満点)	評価基準		
		到達目標	成績	判定
秀	90点から100点まで	ほぼ完全に達成	極めて優秀	合格
優	80点から89点まで	十分に達成	優秀	
良	70点から79点まで	概ね達成	良好	
可	60点から69点まで	最低限達成	最低限合格可	
不可	59点以下	達成していない	合格不可	不合格

学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
経済学部	経済学科	124 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	22 単位
	国際商学科	124 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	22 単位
	公共マネジメント 学科	124 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	22 単位
データサイエンス 学部	データサイエンス 学科	124 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	22 単位
看護学部	看護学科	125 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	24 単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法 :		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 :		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：[https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/about/publication/172-2/172-2\\_8](https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/about/publication/172-2/172-2_8)

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
経済学部	経済学科 国際商学科 公共マネジメント学科	535,800 円	141,000 円 (市内に住所を有する者)	円	
		535,800 円	282,000 円 (市外に住所を有する者)	円	
		535,800 円	70,500 円 (市内に住所を有する者で 一般選抜試験成績優秀者)	円	
		535,800 円	141,000 円 (市外に住所を有する者で 一般選抜試験成績優秀者)	円	
経済学部 (編入学)	経済学科 国際商学科 公共マネジメント学科	535,800 円	70,500 円 (市内に住所を有する者)	円	
		535,800 円	141,000 円 (市外に住所を有する者)	円	
データサイエ ンス学部	データサイエ ンス学科	535,800 円	141,000 円 (市内に住所を有する者)	円	
		535,800 円	282,000 円 (市外に住所を有する者)	円	
		535,800 円	70,500 円 (市内に住所を有する者で 一般選抜試験成績優秀者)	円	
		535,800 円	141,000 円 (市外に住所を有する者で 一般選抜試験成績優秀者)	円	
看護学部	看護学科	535,800 円	141,000 円 (市内に住所を有する者)	円	
		535,800 円	282,000 円 (市外に住所を有する者)	円	
		535,800 円	70,500 円 (市内に住所を有する者で 一般選抜試験成績優秀者)	円	
		535,800 円	141,000 円 (市外に住所を有する者で 一般選抜試験成績優秀者)	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 修学支援を要する学生に対して、生活指導や履修指導の面談を行うなど、最短在学期間で卒業できるよう支援している。
【学生支援：キャンパスサポート】 <a href="https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/about/publication/172-2/172-2_10">https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/about/publication/172-2/172-2_10</a> <a href="https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/life">https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/life</a>
【オフィスアワーについて】 <a href="https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/life/campus_support/kyoumu/officehour">https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/life/campus_support/kyoumu/officehour</a>

<p>入学金については、猶予の制度を設けていない。</p> <p>授業料については、猶予の制度を設けており、日本学生支援機構の給付型奨学金の採用候補者である入学者及びその他の入学者の授業料負担者を対象としている。猶予の期間は4カ月以内。条件については、以下の規程を参照。</p> <p>【入学金及び授業料等の徴収猶予制度について】</p> <p><a href="https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/about/publication/172-2/172-2_9">https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/about/publication/172-2/172-2_9</a></p> <p>【下関市立大学授業料の分納及び徴収猶予に関する規程】</p> <p><a href="https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/wp-content/themes/shimonoseki-ac/pdf/scu_50370.pdf">https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/wp-content/themes/shimonoseki-ac/pdf/scu_50370.pdf</a></p>
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>キャリアセンターでは、学生一人ひとりが「キャリア」を主体的に設計し、自信をもって就職活動に臨んでいけるように、様々な進路・就職支援メニューを用意するとともに、学生の「将来何をしたいのかわからない」という漠然とした悩みから、応募書類の作成や面接といった就職活動に直結する具体的な相談の対応をしている。</p> <p>【キャリアセンター】</p> <p><a href="https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/career">https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/career</a></p>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>学生が安心して学業および大学生活を送ることができるよう、相談支援センターを設けている。</p> <p>保健室では、学生の健康保持・増進を目的に、定期健康診断を通じた病気の早期発見及び予防に努めるとともに、健康相談や傷病時の応急処置を行い、日々の健康管理を支援している。</p> <p>相談支援センターでは、修学上の困難、生活不安、対人関係の悩み等に対し、専門の相談員が丁寧に寄り添い、支援を行っている。必要に応じて、学内の関係部署や学外の専門機関とも連携を図りながら、課題解決と学生の自立・成長を支援している。また、ハラスメントに関する相談や、障害や特性等に基づく合理的配慮に関する相談・申請にも対応しており、すべての学生が安心して学べる環境の整備に努めている。</p> <p>【相談支援センター】</p> <p><a href="https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/fuzoku/supportcenter">https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/fuzoku/supportcenter</a></p>

#### ⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

<p>公表方法：【教育情報の公表（法定事項）】</p> <p><a href="https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/about/publication/172-2">https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/about/publication/172-2</a></p> <p>備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。</p>
---

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F135210110061
学校名 (〇〇大学 等)	下関市立大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	公立大学法人下関市立大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		555人（356）人	545人（339）人	570人（362）人
内 訳	第Ⅰ区分	129人	123人	
	（うち多子世帯）	（ 29 人）	（ 26人）	
	第Ⅱ区分	83人	83人	
	（うち多子世帯）	（ 14人）	（ 13人）	
	第Ⅲ区分	45人	55人	
	（うち多子世帯）	（ 15人）	（ 16人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	86人	69人	
	区分外（多子世帯）	212人	215人	
家計急変による 支援対象者（年間）				一人（ 0 ）人
合計（年間）				571人（362）人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	一人	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が廃止の基準に該当)	0人	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲 が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	一人	人	人
計	12人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	11人	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	109人	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	一人	人	人
計	109人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。